資料２

【未活用団体】町内会活動活性化事業アンケート集計結果

回答期間：令和８年６月１日～２２日

回答町内会：３１　町内会

回答率：１００％

恵庭市町内会連合会

【未活用団体】 町内会活動活性化事業 アンケート 集計・分析結果

集計対象数: 31/60町内会

問１：現在の活動状況（直近1年の主な活動内容・複数回答）

選択肢項目	回答数(町内会数)	構成比（%）
防犯・防災訓練	15	22.1%
お祭り・レクリエーション	23	33.8%
会報の発行	12	17.6%
その他	18	26.5%
回答延べ数	**68**	**100.0%**

【その他：活動状況】
町内会一斉清掃活動、福祉高齢者対策、青少年育成・厚生文化活動、ホームページ周知活動、子ども・高齢者へのプレゼント、会館周辺の草刈り、行事開催回覧、高齢者ふれあい会、LINEによる電子回覧、花壇整備、ラジオ体操

問２：「町内会活性化補助金制度」の認知度（単一選択）

選択肢項目	回答数(町内会数)	構成比（%）
内容まで詳しく知っている	14	45.2%
名前は聞いたことがあるが、詳細は知らない	14	45.2%
全く知らなかった	3	9.7%
合計	**31**	**100.0%**

問３：補助金を活用していない主な理由（複数回答）

選択肢項目	回答数(町内会数)	構成比（%）
手続きの負担（書類作成が煩雑）	8	12.1%
情報不足（対象事業が具体的に不明）	1	1.5%
対象事業の不在（新規予定がない）	16	24.2%
資金面（自己負担金の捻出困難）	6	9.1%
人員不足（立案・実行の担い手なし）	19	28.8%
現状維持（既存予算・会費で安定）	11	16.7%
その他	5	7.6%
回答延べ数	**66**	**100.0%**

【その他意見】
新事業開催による役員の負担増。課題解決する具体的な方策が思い当たらない。新事業に該当せず対象外となった。活用を検討するも数多くの意見がありまとまらず実現できず。デジタル化に特化した維持経費の補助を検討してほしい。

問４：現在抱えている「運営上の課題」（複数回答）

選択肢項目	回答数(町内会数)	構成比（%）
役員のなり手不足・高齢化	30	44.8%
加入率の低下	13	19.4%
行事のマンネリ化・参加者減少	15	22.4%
住民ニーズの多様化	4	6.0%
事務作業のIT化の遅れ	4	6.0%
その他	1	1.5%
回答延べ数	**67**	**100.0%**

【その他意見】
関心が薄い

問５：課題解決に向けた「現在の取り組み」（複数回答）

選択肢項目	回答数(町内会数)	構成比（%）
行事の精査・見直し（負担軽減）	11	22.0%
LINE/SNS/メール活用による効率化	12	24.0%
役員の役割の細分化	6	12.0%
近隣町内会との合同開催・協力	4	8.0%
親睦を深める新イベント企画	4	8.0%
特に何もしていない	9	18.0%
その他	4	8.0%
回答延べ数	**50**	**100.0%**

【その他意見】
役員数を3人まで減らした。役員の兼務。役員を固定化すると良いアイデアが生まれない。近隣町内会との合併。

問６：課題解決に「必要だと考えていること」（複数回答）

選択肢項目	回答数(町内会数)	構成比（%）
地域活動への理解促進	14	43.8%
運営をサポートする外部人材派遣	3	9.4%
補助対象となる事業範囲の拡大	4	12.5%
事務作業のデジタル化導入	3	9.4%
成功事例やノウハウの共有	8	25.0%
その他	0	0.0%
回答延べ数	**32**	**100.0%**

問7：魅力・加入メリット（自由記述）

■役員は輪番制で、**高齢化により**イベントができなくなっており、**メリットはない。**

■**安心安全に暮らせる地域・仲間づくり**

■**地域の人々とのつながり。回覧板を通しての安否確認。**

■集団資源回収等をとおしての住民同士の**顔が見えるつながり**

■**会員が安心で安全に過ごせること**

■同じ地域に居住することで**顔が見える安心感**、町内会加入による**交友範囲の拡大。**

■加入者**相互交流**。町内会がなくなっても生活上の支障が発生しない。

■**高齢化によりメリットは特にない**。

■**助け合い、防犯意識の向上**と考えるが、判らないから苦労している

■特に活動に**メリットがあるとは思えない。**

■特定の人に負担がかかっており、メリットはそれほどない。近隣町内会と合併しても手間が増えそうで、検討していない。

■老人が**安全安心して生活できる環境確保**、子ども見守りによる**安全確保**、子ども会活動による**友達づくり**、食育による豊かな心の育成、おとなとの関わりによる情操力の向上

■顔見知りの関係になれる。

■近隣住民の親睦

■加入者**相互交流**、**防犯事業による安全・安心**、回覧物による**町内事業の確認**、参加

■**安心安全に暮らせる地域・仲間づくり**で守られている

■会報等による**地域情報**等が得られる。イベント参加により**住民とのつながり**が得られる。町内会を通じて**地域貢献活動**ができる

■行事を通じて**交流**ができる。個人では難しい地域の困りごとの改善。**災害時の助け合い**。

■**安全で安心して暮らせる町づくり**、各種情報の共有

■**高齢化により**役員ができない人が増えており、**メリットはない。**

■お悔みの連絡。

問8：活発化に必要なこと(自由記述)

■**若い世代**の増加。農村地区で高齢化の影響が大きいため。

■近隣町内会（漁太・林田、春日）との合併の話があったが、範囲が広くなり、手間も増えるため、現状維持でよい。

■近隣町内会との**合併**

■**若い世代**の増加。

■**担い手**の増加。

■**子供**が自立しイベントに参加することがなくなり、町内会をやめる人がおり、町内会加入のメリットが必要である。

■会員の積極的参加により、**良いアイデア**が浮かぶのではないか？

■現在の町内会活動の**広報手段の拡大**。広報手段としての**スマホ等の活用**。

■町内会が**必要だと住民に思ってもらわなければ**続いていかない。デジタル化を進める予定はない。

■**若い世代**の加入、**担い手**になってもらうこと。

■**町内会費納入以上に還元**できる事業を探す。具体的事業をするためにの**人材（役員）の確保**

■会員一人ひとりの**意識が向上**していくこと。

■役員・担い手不足と高齢化により、ほとんど活動できていない状況であり、近隣町内会（泉町、京町）との**合併**が必要である。

■加入者が増えると、還元するためのイベントを積極的に行う必要があるため、現状維持でよい。
マンションが多くオートロックで、町内会に入っていないのに回覧を入れるのに管理会社へ許可を取る必要があり、手間になる。
夏休みに1週間ラジオ体操をやっているが、**マンションのどこに子供が住んでいるのかわからず、案内ができていない。**

■**理解**ある方が増えること

■**青年部**の立ち上げ、**40-50代層の参加促進**を図る行事を計画する

■**世帯数の増加**。

■役員等の高齢化が進み、**若い層**の参加が活性化に繋がる

■**役員の確保**がなければ町内会は解散の可能性がある

■**30-40代の中間層の新事業**を増やす。補助金の利用について、活用の幅を増やす。飲食を可とする。

■**住民にとって存在感、貢献度がある組織であること**。町内会活動の**住民の理解と協力**が必要。脱退でデメリットが生じるかの声を頂くが、生活上の支障が発生しない。会員になると役員等が廻り住民の負担が増え、加入率低下に繋がる。**町内会加入のメリットが必要**である。

■役員の手間・暇等のバランスもあるが、**気軽に参加出来る行事を実施**する。**町内会費以上のメリット**を感じてもらうこと

■**活動を広く知ってもらう。**

■地域住民へ町内会の**有効性を認識**してもらう。幅広年代層に行事、役員へ参加してもらい**発想の転換**を図る

■資金の増加。資金難により、R8から**毎年7月に実施していた「お楽しみ会」ができなくなった**。
R7の集会場利用料が払えず、R8に2年分払う予定。

■**若い世代**の増加。農村地区で住民が増えることがなかなかないため。

問9：市への要望（自由記述）

■防風林への不法投棄が多いため、看板設置等の支援があればうれしい

■**町内会館の補修**（屋根補修等の金額大きいもの）について、過去に補助できないと言われたことがあるため対応してほしい。

■精査中

■社会福祉協議会からは社会福祉協議会のメニューに合致した事業に対し、助成措置があり、当町内会では昨年度10万円の助成金が交付されています。
町内会を担当する恵庭市としても自治活動交付金とは別に**新たな事業を実施した場合に複数年の運営助成があるような仕組み（運営補助）**があっても良いのではないかと思います。

■**活用できる事業内容（飲食等）を拡大**してほしい。初年度に活用を検討したが、加入促進のためには、モノをばらまかなければ厳しいと思う。

■**詳しい説明**があればうれしい。

■結局は、町内住民の意識改革が必要

■R8から活動できていないため、会費を半分の1,800円に下げており、**土地柄**で商店や自営が多く、単身世帯のアパートが多く、加入率の増加は望めない。また**協力体制がない。**

■活発的な町内会でなければ活用が難しく、**役員の担い手不足により補助金を使うことはなさそう**である

■**勧誘チラシ作成したい。その方法を教えて頂きたい。**補助活用したい。

■市営住宅がなくなり、住民が減少したため交付金が減少した。

■補助金申請と市の年度がリンクしない。年度で補助決定してから、年度計画に取り込むようにする

■課題解決のため補助金をどう活用していいか解らない。町内会の理解促進が必要。負担軽減するための方策はないか？

■町内会へのサポートの充実させ、市民が町内会に加入するとメリットが多いと感じられるような状態が出来れば加入率の向上や維持が出来ると考える

■転入者への呼びかけ。

■手続きの簡素化